

医師として
政治家として

共産党東京都委員会副委員長
新型コロナ対策本部長

- 1971年長崎県生まれ49歳
- 国立香川医科大卒
- 大田病院・大森中診療所で
の診療や区内保育園の園医
を勤める

衆院東京4区予定候補（比例重複）

いのちを守る政治を。 谷川 智行

たにがわ ともゆき



2020/10/8 発行 日本共産党大田地区委員会

名指しされた都内9病院の
住民・議員らが出席、宮本徹
衆院議員と谷川智行衆院東京
比例候補が同席しました。夫
が筋萎縮性側索硬化症で人工
呼吸器を着けて26年目という
女性は、都立神経病院（府中
市）が「命を支える病院」で
あることを説明。26年たつて
も人工呼吸器を選択する人が
3割の状況だとし、単身者や



厚生省に病院再編計画の撤回を求めて発言する
谷川予定候補＝10月2日、衆院第1議員会館

コロナ禍 病院削減やめよ 厚労省に「再編」撤回要求

共産党・住民

公立・公的病院を厚労省が再編・統廃合しようと4
40超の病院を名指ししている問題で、日本共産党東京
都委員会は10月2日、同省に聞き取りました。

生活保護を受けている人から、
どうしたらいいか相談を受け
ているといいます。この人た
ちに神経病院が親身に支えに
なっていると述べ、「ぜひ生
かしていただける体制を。今
より充実させ守ってほしい」
と声を震わせ語りました。

区立台東病院を守る会の男
性は、新型コロナウイルスの
クラスターが発生した永寿総
合病院が1カ月近く休診して
いたときに、患者を受け入れ
たのがこの病院だったとし、
存続署名が4000人超集まっ
ていると説明しました。

同省は、コロナ対応を受け
て当初9月末までとしていた
再編・統合の判断の期限を延
期しています。担当者は
「早急にとりかかると述べ、
計画推進の意思を示しました。
宮本氏は「各地域でかけが
えのない病院であるという実
情を踏まえ計画再検討を」、

谷川氏は「医療は効率優先で
はダメということがはつきり
した。現場を傷つけさらなる
負担を生んでいるリストは撤
回を」と述べました。

この記事は10月3日付けの「しんぷ
ん赤旗」記事を元に編集しました。

「谷川智行公式LINE」 スタートしました！

谷川智行候補の活動・政策
を紹介していきます。スマー
トフォンでQRコードを写真
撮って、ぜひお友達登録
よろしくお願ひいたします。
お知り合いにもお広げ
ください。



《今後の主な日程》

- 10月13日（火）朝宣伝
7時45分～8時半 糀谷駅環八側
- 10月16日（金）朝宣伝
7時半～8時半 平和島駅
- 10月24日（土）駅頭宣伝
16時半～ 蒲田西口

#比例は日本共産党

東京4区から谷川智行さんを国会へ

私も応援
します

前都知事候補
元日弁連会長
宇都宮 健児

※ 谷川智行さん応援ミーティングでの挨拶の要旨

谷川智行さんには都知事選で、あらゆる面で、特にコロナ対策では的確なアドバイス頂きました。大変勉強になりました。

この間、東京都に71カ所あった保健所が31カ所に減らされています。多摩地域の保健所にも一緒に行って頂きまして、保健所の機能がいかに大切かを教えて頂きました。また、小池知事の

のコロナ対応の問題点、オリンピックの延期が決まった直後に感染爆発と言いついて、あなたかも「やっています」というパフォーマンスをする。また、PCR検査を増やす必要があるのに増えていないなど、専門家の見地から、的確なアドバイスを頂きました。都知事選をたたかう上で

大変力になりました。谷川さんがいなければ都知事選はたたかえなかったと言っても、過言ではありません。

「新宿ごはんプラス」というボランティアグループが生活困

窮者の方の支援活動を、土曜日に東京都庁前で、弁当を配布したりさまざまな生活・医療相談をしています。谷川さんはそこに医師として参加されており、大変感銘を受けています。今の政権には、本当に困難な状況がまったく伝わっていません。そこに目が行っていません。医師と言う専門家の立場でぜひ国会に出て頂いて、活躍して頂きたいと思っています。私も、心から応援しています。



都知事選「コロナ対策会見」(7月1日)

まちかど演説



車いすの患者さんが街頭演説に駆けつけて下さいました。大森南ライブ前

10月4日、大田区内の団地やスーパー前など5か所で街頭演説。百数十人の方々に集まっていただきました。立ち止まって聞いてくださる方も、遠くから手を振ってくださる方も。元気をいただきました。今後も、区内をどんどん回らせていただきます。



矢都都営住宅前
(10月4日)

町工場訪問

コロナ禍の今こそ この技術を生かす

9月30日、仲六郷の二木製作所を訪れ、社長さんにお話を伺いました。大田区は日本一の産業集積を誇るまち。ものづくりを守り発展させるため、固定費補助など緊急支援が必要です。企業の99・7%を占め、働く人の3人に2人が働いている中小企業が元気になってこそ、地域も日本経済も元気になります。日本のものづくりを守れ!



二木さんから話を聞く谷川
予定候補

